

### 3 研究所合同で「春の一般公開」を実施

当研究所は4月22日、交通安全環境研究所、電子航法研究所との3研究所合同で研究施設を一般公開しました。来場者は3研総計で3,279人にのぼりました。

毎年、春と夏に行われる研究施設の一般公開ですが、4月に開催されてきた「春の一般公開」は「科学技術週間」の行事の一環として近隣地域・コミュニティーの人々が普段接する機会がない研究施設や研究活動の一部に触れる絶好の機会となってきました。昨年は東日本大震災の発生とそれに伴う影響で中止のやむなきに至りましたが、今年は2010年以来、2年ぶりの開催となりました。

同日は当研究所の誇る400m水槽や深海水槽、変動風水洞、操船リスクシミュレータなどを公開すると



もに、例年好評のスーパーボールすくいや分子模型の作製などのイベントを実施しました。また、隣接する宇宙航空研究開発機構を加えて4研究所でスタンプラリーも実施しました。

さらに海難事故解析センターの田村兼吉センター長が大西洋に沈没して今年で100目を迎えた豪華客船「タイタニック」の事故について専門家の立場から語るレクチャーが急ぎよ、開催されました(午後2回)。

来場者は正門・西門・東門合計で3,279人を数えました。晴天に恵まれた2年前の春の一般公開の来場者数(約4,800人)に及ばなかったのは、当日の天気予報が「曇りのち雨」だったことや、実際、気温が15℃と肌寒かったことなどが影響したと思われます。



### さいたま市立大宮北高校の生徒13名が施設見学

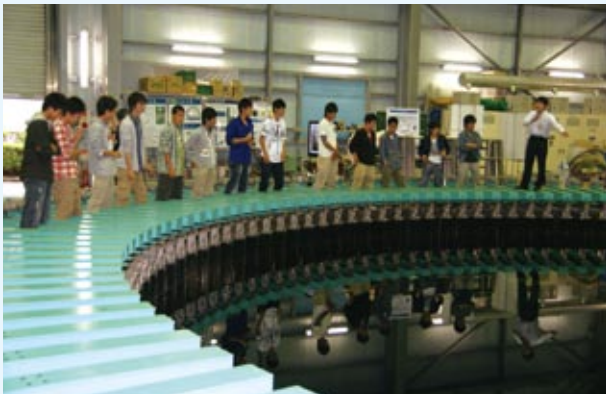
さいたま市大宮北高校の生徒13名が5月10日、当研究所を訪れ、変動風水洞などの施設を見学しました。

来所したのは、同校2年生で全員が男子生徒。社会見学の 일환として田村典美先生に引率され、午後1時前に当研究所に2班に分かれて集合しました。生徒の皆さんは本館会議室で当研究所の研究内容や研究施設を紹介したビデオを見た後、変動風水洞、深海水槽、高圧タンク、操

船リスクシミュレータなどを順次見学しました。

当日は日本列島上空の強い寒気の影響で雷雨や突風に見舞われたため、一時、施設内で待機することも余儀なくされましたが、予定通り無事に見学を終えることができました。

なお、埼玉県内の学生が当研究所を訪れるのは、昨年10月に職場体験で訪れた上落合小学校以来となります。



深海水槽で



変動風水洞で